

B ook 必読本

【私の感動した本】

はぐれぐも
『浮浪雲』

ジョージ秋山著 小学館



バフ社長

釘崎 清秀

Kugisaki Kiyohide

大学一年生の時に先輩からもらったこのコミックは、幕末時代の江戸の宿場町「品川宿」で問屋を営む雲が

仕事そっちのけで遊んでばかりいるという家族の人間模様を描いています。

当時、私は第一志望の大学に行けなかったこともあり、劣等感に苛まれて小さな事はかりに囚われていました。そんな時、ここに出ってくる言葉で私は大粒の涙を流したんです。「小事を気にせず流れる雲

の如し！」——。普段、ボーっとしている雲が悩む息子に与えたこの言葉に私は救われました。

今、人々の心から「公」の心が忘れ去られています。競争は人を蹴落とすものではなく、お互いを高め合うものです。そのためには物を大きく見る必要があります。コミックではありながら、この本はそれを私に教えてくれました。

【書評】